

010. 遠藤克彦建築研究所・RIA 設計共同体

様式12：実施方針書

参加者番号：010

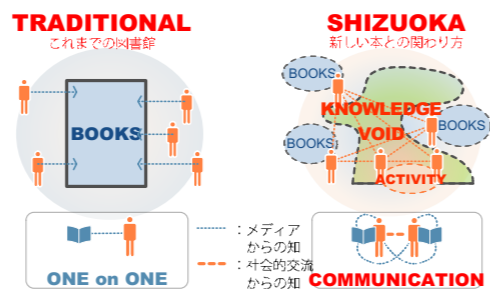
00 将来に渡って残る新しい図書館の定義とそれを実現するための堅実な業務体制

本と人との新しい関係を築くための基本方針

人、書籍、知識、できごとが交錯し、そして地域へ広がっていくための「知のターミナル」
これからの新しい図書館では、従来の図書館にあるような、目的の書籍を読むという一方的な「メディアへのアプローチ」から、文字情報だけでなく、五感情報やその場所で過ごす時間を含めた経験そのものを知として捉え直した「知識へのアプローチ」を可能とする空間形式を提案します。従来の本を探す原初的な楽しさを保ちながら、人々が知識をシェアし深めて蓄積していくことで、時間をかけながら育てていく静岡の新しい図書館像を、県民や職員の皆様と共に作り上げていきたいと考えます。

知へのアプローチを可能とする新しい図書館の空間形式

書籍と人が1対1の関係で完結した従来の図書中心の空間図式に対し、新しい図書館では交流や創作等、人々の知的活動を中心としたソーシャル型の図書空間を提案します。新しいタイプの図書館機能を県民どうしの交流機能の中心として据え、人々の交流や創造の過程の中で知を発見していく場をつくり、従来の書籍と人との関係を更新する、新しい公共施設のかたちをつくりだします。



新しい図書館像を実現するための6つの特徴

01 2つの図書館機能をつなぐ全層連続の吹抜け

新しいタイプの図書館と従来の図書館が切れ目なく連続する、活動のグラデーションのある屋内空間をつくりだします。

02 施設内の知的活動を街へ展開させる屋外空間

イベント開催や読書のできる屋外空間を地上から屋上まで連続させ、街との関わりを積極的につくりだします。

03 静岡の自然を享受し最適な読書環境をつくる外装

厳しい日射や強風を適度に遮ぎる孔空きパネルによって、自然を感じながらも良好な読書環境とします。

04 県内図書館の中核機能を満たす物流拠点

県内の公立図書館の協力貸出需要を一手に引受ける中核施設として有効に機能する充実したバックヤードを計画します。

05 豊かな自然環境を活用した持続可能な施設

100年先を見据えた施設として、静岡の豊かな自然エネルギーを積極的に活用した持続可能な施設を計画します。

06 堅実な実施体制による確実なコストコントロール

アトリエ事務所と組織事務所のM+により柔軟な思考と的確なノウハウ活用を両立し、確実な業務遂行を実現します。

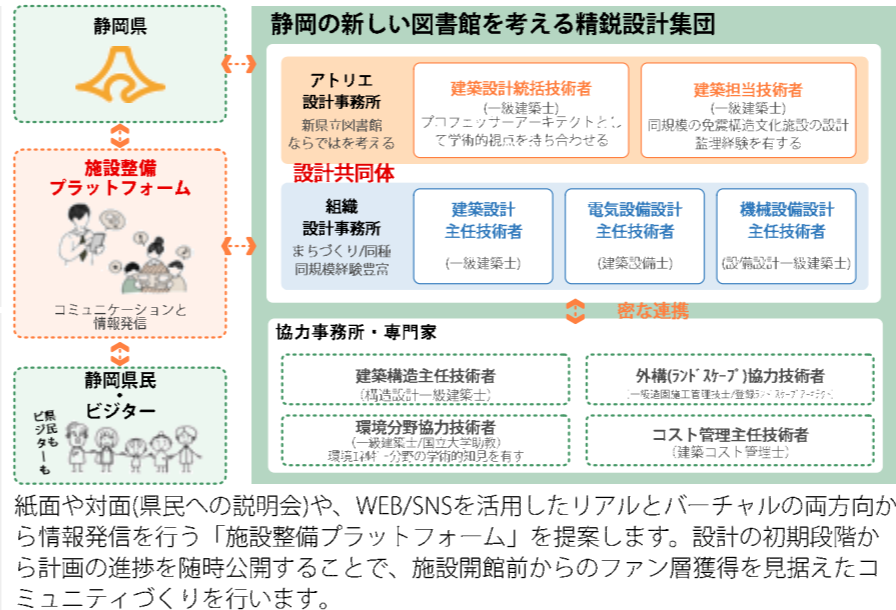
積み上げ型の業務進行による確実な承認スキームを構築します

業務完了後をも見据えた確実な業務遂行

経験豊富な技術者による設計チームの構築と、BIMの活用によるリアルタイムに近いコスト把握により、予算範囲内での設計を確実に進めます。また、各種決定にあたっては、維持管理のしやすさやランニングコストを含めた総合的な比較検討を行うことで、建設コストだけでなく、建物寿命全体にわたってのライフサイクルコストについても、パフォーマンスの最大化を図り、将来にわたって親しまれる施設の計画を行います。

柔軟かつ堅実な設計を実現する共同体体制

設計チームは、大規模文化施設の設計監理経験を有するアトリエ設計事務所と、まちづくりや駅前開発、図書館建築に多数の経験を有する組織設計事務所による設計共同体を核とし、新県立図書館ならではの建築を確実な業務遂行力をもって実現します。建築設計統括技術者(アトリエ)の舵取りのもと、建築設計主任技術者(組織)と建築担当技術者(アトリエ)が密接な連携を行い、全体の取りまとめを行います。電気及び機械設備設計主任技術者は建築設計主任技術者と同一組織から配置し、設備を統合した合理的な設計を可能とし、より確実なコストコントロールを行います。また、環境・エネルギーに関する学術的知見を有する環境分野協力技術者をチームに迎え、各種シミュレーション等を行う事で、静岡の豊かな自然環境を最大限活かした計画を実現します。



ステークホルダーとの円滑な合意形成手法について

協議事項や協議先が多岐にわたる本案件について、情報の伝達がそれぞれの機会において効果的に行われる事が重要であると考え、業務にあたります。

直感型プレゼンテーション：3DCGや模型等、建築関係者でなくても理解しやすい媒体を用いた計画の説明を行います。適材適所の正確な資料提供により、全ての関係者に対して確実な情報共有を行います。

比較型検討協議：設計内容決定の際には、複数案を検討し比較した上で資料作成を行います。メリットやデメリットをご理解いただいた上で総合的な評価をもって決定いただき、承認を得て業務を進めます。

WEB会議システムの活用：各種協議については対面の他、WEB会議システムを用いたリモートでの開催にも対応します。感染症対策のみならず、定例外の緊急の協議等、臨機応変な対応を行い、スピード感のある業務遂行を実現します。

プロジェクトチームにおける設計等に関する実績

アトリエ設計事務所

- 【大規模文化施設】 [美術館] (約20000㎡)
- 【サステナビリティ】 [庁舎] (約5000㎡)
- 【地域に根ざす】 [学習施設] (約1350㎡)

組織設計事務所

- 【駅前開発】 [商業地] (約42000㎡)
- 【指定管理図書館】 [図書館他] (約18000㎡)
- 【静岡県内の設計実績】 [図書館他] (約2400㎡)
- [事務所他] (約53000㎡)

豊富な知見をもつ強力な設計集団を組織

設計工程表(案)	令和4年(2022年)										令和5年(2023年)									
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10~
全体工程	設計契約						基本設計(6ヵ月程度)						実施設計(15ヵ月程度)						設計業務完了	入札
業務フロー	条件整理		基本方針まとめ		基本設計案作成/協議		成果物まとめ		一般図作成		詳細設計①		詳細設計②		成果物まとめ		発注支援			
コスト管理	●目標確認 目標額・規模・仕様を設定		●概算1 3Dモデルを活用した数量算出		●概算2とVE対応 概算を確認しVE検討		●概算3 概算内容調整		●概算4 詳細確認		●概算5 詳細確認		●概算6 詳細確認		●概算7 詳細確認		●調整 ゆとりある期間を確保			
BIM			●3Dモデル作成						3Dモデルを随時更新し数量等の変化を把握しながら設計を進める											
品質確認 (DR:デザインレビュー)			DR-1 基本計画照査 基本計画の適切性確認		DR-2 基本設計照査 概算工事費確認		DR-3 一般図照査 詳細設計事項の精査		DR-4 実施設計照査 精算前最終確認											
定例会議	01 キックオフ	02	03	04	05	06 総括	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18 総括		

010. 遠藤克彦建築研究所・RIA 設計共同体

01 | 評価テーマ1【県民の誇りとなる外観・内観デザイン】 人々の多様な活動そのものが駅前の魅力的な景観となる、静岡の水と光と風を感じる「知のターミナル」

「静岡らしさ」を表現する建築の構成として、温暖な気候を受け止め利用者が思い思いに過ごせる屋外空間「ナレッジガーデン」を提案します。その多様な活動が施設内だけでなくエリア一帯にも共有されるよう、

- ・ナレッジポイド
- ・ナレッジガーデン
- ・バイオフィルター

の3要素を空間構成の軸とすることで、静岡ならではの外観/内観デザインをつくります。



吹抜によって緩やかに繋がる多様な活動空間

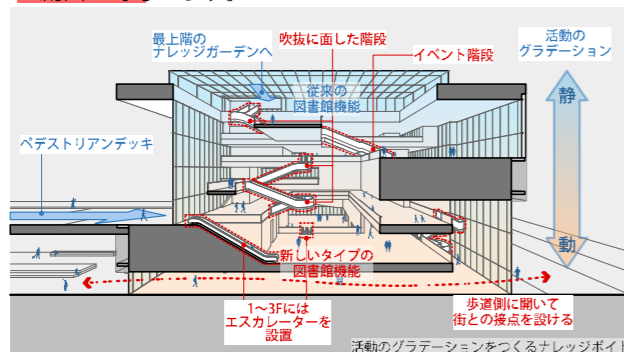
二つの図書館機能を繋げるナレッジポイド

施設内部には、全層を貫く吹抜(=ナレッジポイド)を設け、オープンコラボレーションスペースや各種ラボの活動が吹抜を介して施設全体に共有される計画とします。利用者それぞれが目的に応じて最適な読書空間を選択し滞在できる緩やかなワンルームをつくりだします。



利用者の上下移動を印象的に演出する大開口

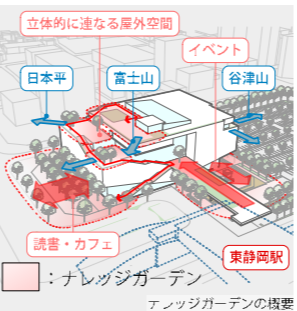
ナレッジポイドが大きな開口として外部にも表出することで、利用者が吹抜内の階段を上り下りする様子が、駅や前面道路等に対してダイナミックに映し出され、街の賑わいの創出に寄与します。



周辺と施設を繋ぐ知の立体公園

屋内活動を外へ延長するナレッジガーデン

内部の活動や周辺環境と対応関係にある広場や屋上デッキ(=ナレッジガーデン)を計画し、それらを屋内の知的活動の場の延長として捉えます。それぞれの広場が階段を通じて立体的に繋がることで、各所の活動が屋内外を問わず連続的に繋がるネットワークを施設全体でつくりだします。



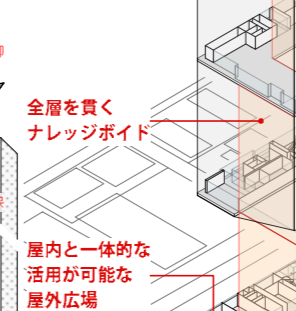
地上の緑から連続的に連なる立体緑地

敷地内及びナレッジガーデンには緑量豊かに植栽を行い、地上から屋上まで連続したみどりのネットワークをつくりだします。利用者が思い思いに過ごすことができる公園のような場所を、駅前の一等地につくりだします。



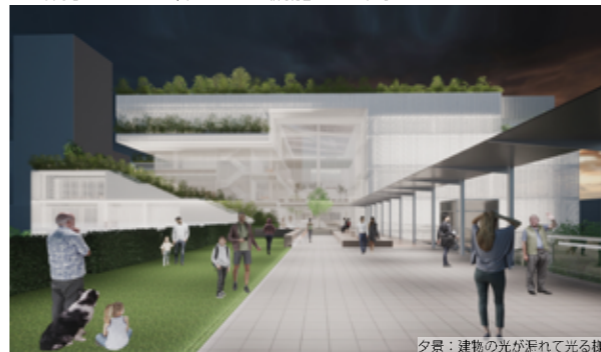
内外の環境をコントロールするバイオフィルター

屋外：静岡の光、風、水、豊かな気候環境を採り入れる光を透過する被膜(=バイオフィルター)を建物外周にまとわせ、方角に応じて開口率を変化させた孔あきパネルにより日照を制御し風雨を受け止め、屋外の環境変化を感じつつも良好な、読書にふさわしい空間をつくりだします。パネルを襲(ひだ)状に折り曲げることで風等の外環境に耐える強度を確保するとともに富士の山肌を彷彿とさせる陰影をつくりだします。



屋内：各種設備を統合し、屋内環境をコントロールする

内装にも孔あきパネルを活用し、内外統一感のある意匠とします。パネルの背後には孔を活かして空調吹出口や吸音材を設けることで、壁面全面が呼吸できるように図書空間の環境を適正に保つよう機能します。

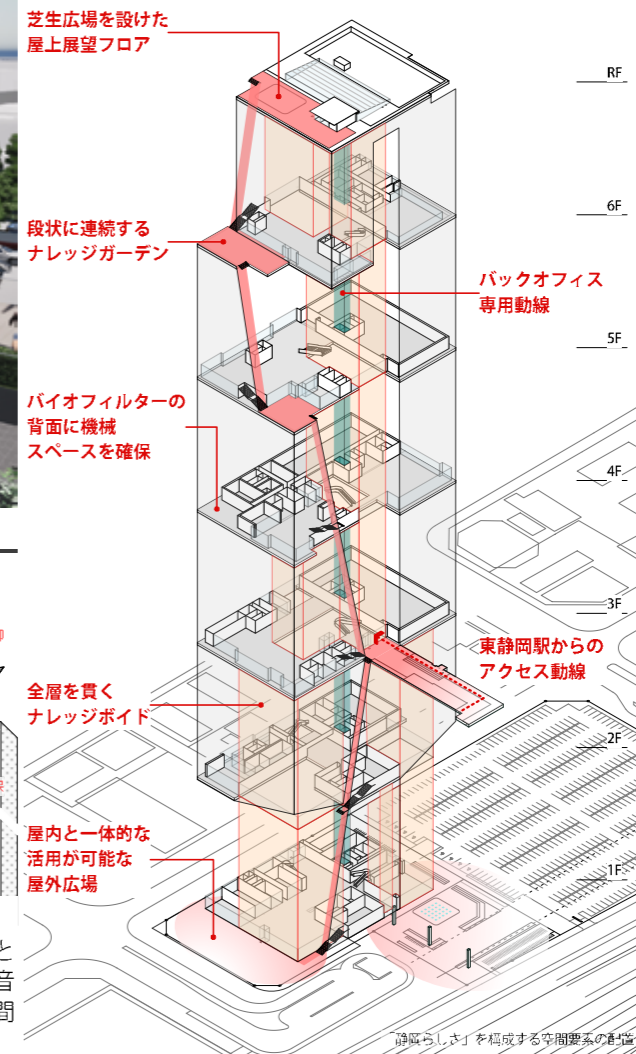


様式13：技術提案書(2次)
参加者番号：010

人の活動を可視化する空間の構成手法

内と外の間を生み出すポイドとガーデン

内部の賑わいを共有する吹抜け(=ナレッジポイド)と、県民の活動が外部に表出する場(=ナレッジガーデン)が相互に絡み合うように計画し、内外を問わず絶えず人々の動きが感じられる建物の構成をつくりだします。周囲の眺望や採光条件、内部で行われる活動の種別等、機能的側面からポイドやガーデンの配置を導くことで、建物の形が県民の活動そのものを表現します。



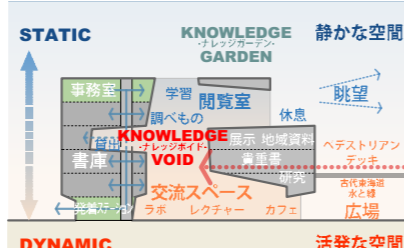
010. 遠藤克彦建築研究所・RIA 設計共同体

02 "ナレッジボイド"と"ナレッジガーデン"が溶け合って内外が連続する、県民の交流を主体とした知と創造の新しいターミナル

静岡の空気を感ずる、建物内外に賑わいがあふれる図書空間

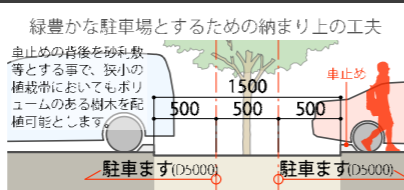
周辺都市要素を引き込む、グラデーションのある断面ゾーニング

施設のゾーニングは整備計画等の考えを基本とし、1-2階に新しいタイプ、3-6階に従来のタイプの図書館機能を配置した明快な階別ゾーニングとします。1-3階の動線にはエスカレーターを設け、両タイプの図書館機能へは地上又はペDESTリアンデッキどちらからもアクセスしやすい計画とします。



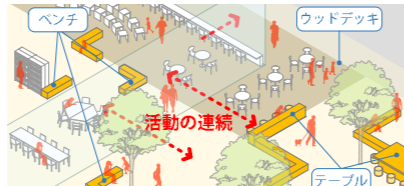
駅前に賑わいとくつろぎをもたらす特徴ある屋外空間

豊かな植栽による木漏れ日の屋外空間
駐車場を含めた敷地全体及び屋上部分には十分な配植を行い温暖な静岡において年間を通して快適な屋外空間をつくりだすと共に、全方位に対して良好な都市景観を提供します。



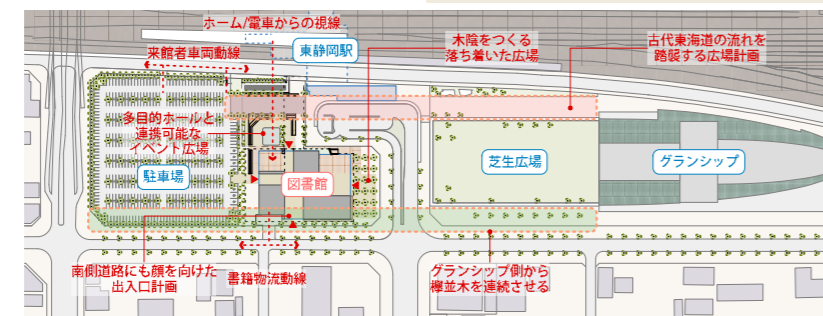
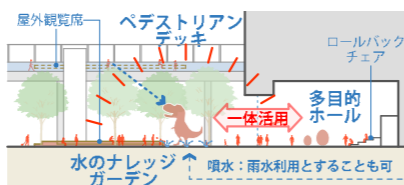
統一エレメントで内外が繋がれた新しいタイプの図書館機能

カフェ等の新しい図書館機能に面する屋外部分にはベンチやウッドデッキ等の内外統一されたエレメントを配し、読書やラボでの活動等、屋内での活動がそのまま緑豊かな屋外へも現れてくるような設えとします。



前面の広場やペDESTリアンデッキと連携可能な多目的ホール

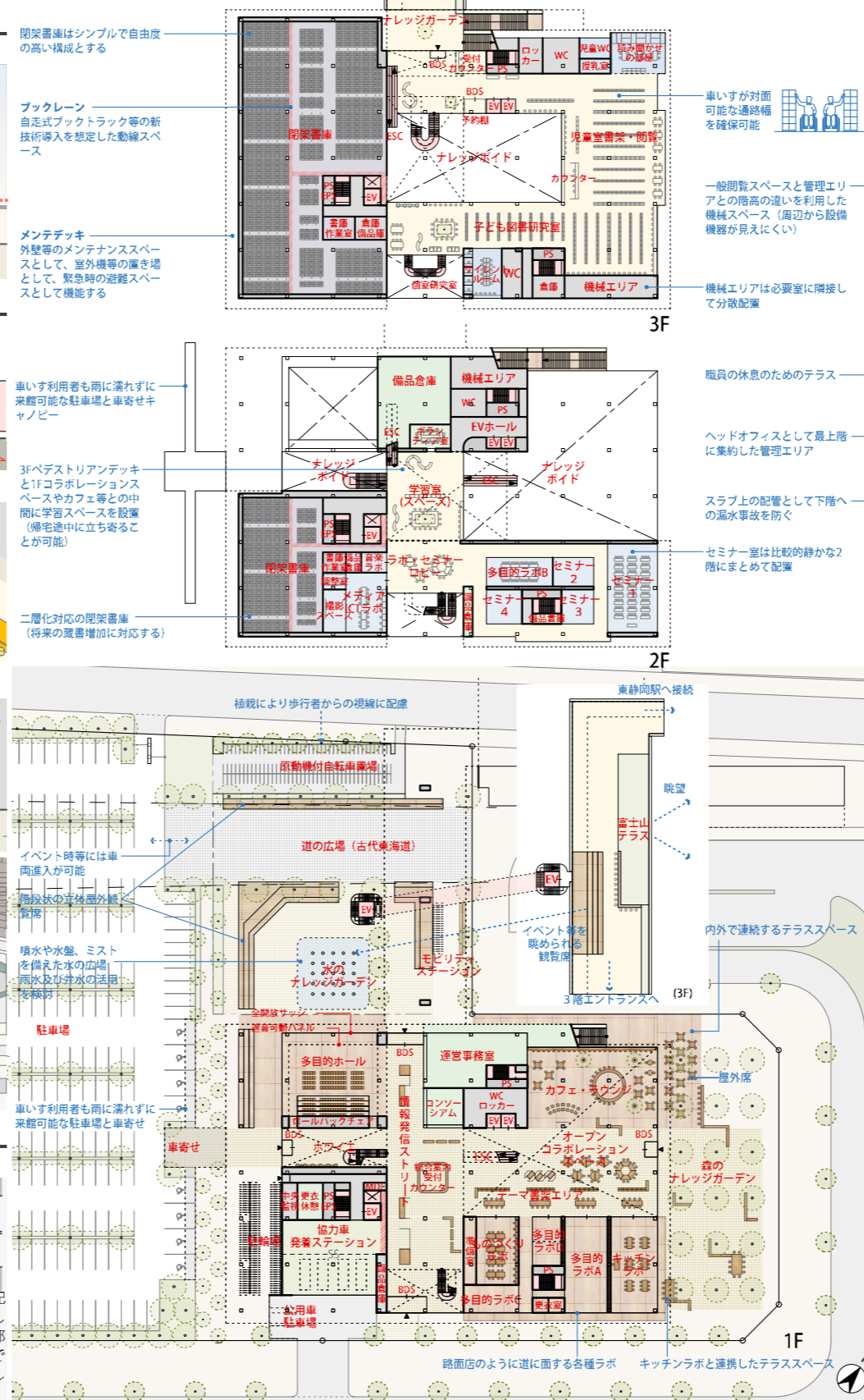
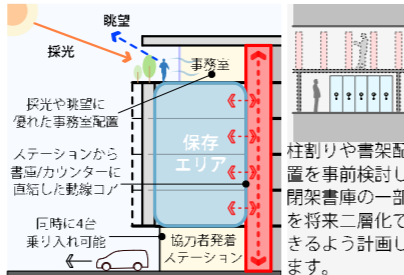
多目的ホールは開放する事で前面広場と一体活用可能とします。ペDESTリアンデッキとの関係も活かし、立体屋外観覧席を持ったイベントスペースとなります。駅や電車からも視認でき、都市との関係をより強固にします。



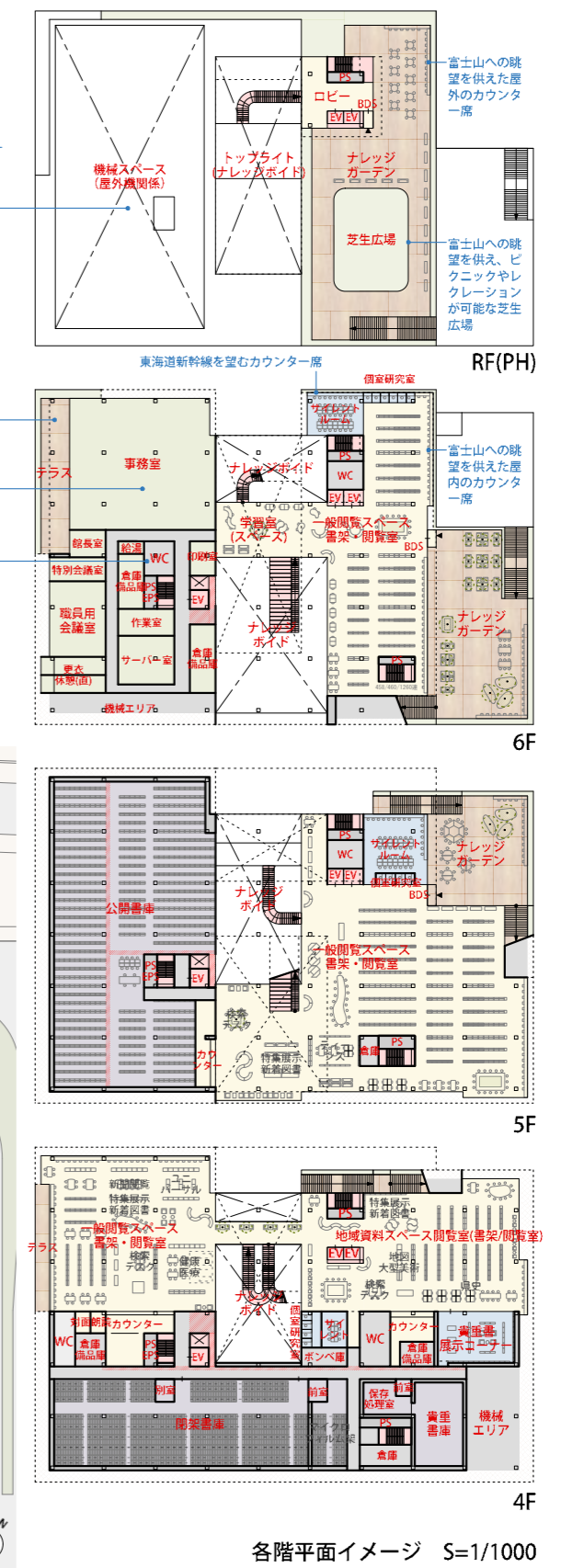
充実したバックオフィス支援

効率運営により県民サービスの向上を図る、共益関係の施設計画

事務室や書庫等の運営を支えるバックオフィスの効率性・快適性向上が来館者へのサービス向上に繋がると考えます。管理・保存エリアはまとまったゾーニングとし、事務室は採光及び眺望に優れた最上階に配置します。自走式ブックトラック等の新技術導入を想定した動線計画等、将来を見据え県民にながく親しまれる施設を計画します。



様式13：技術提案書（2次）
参加者番号：010



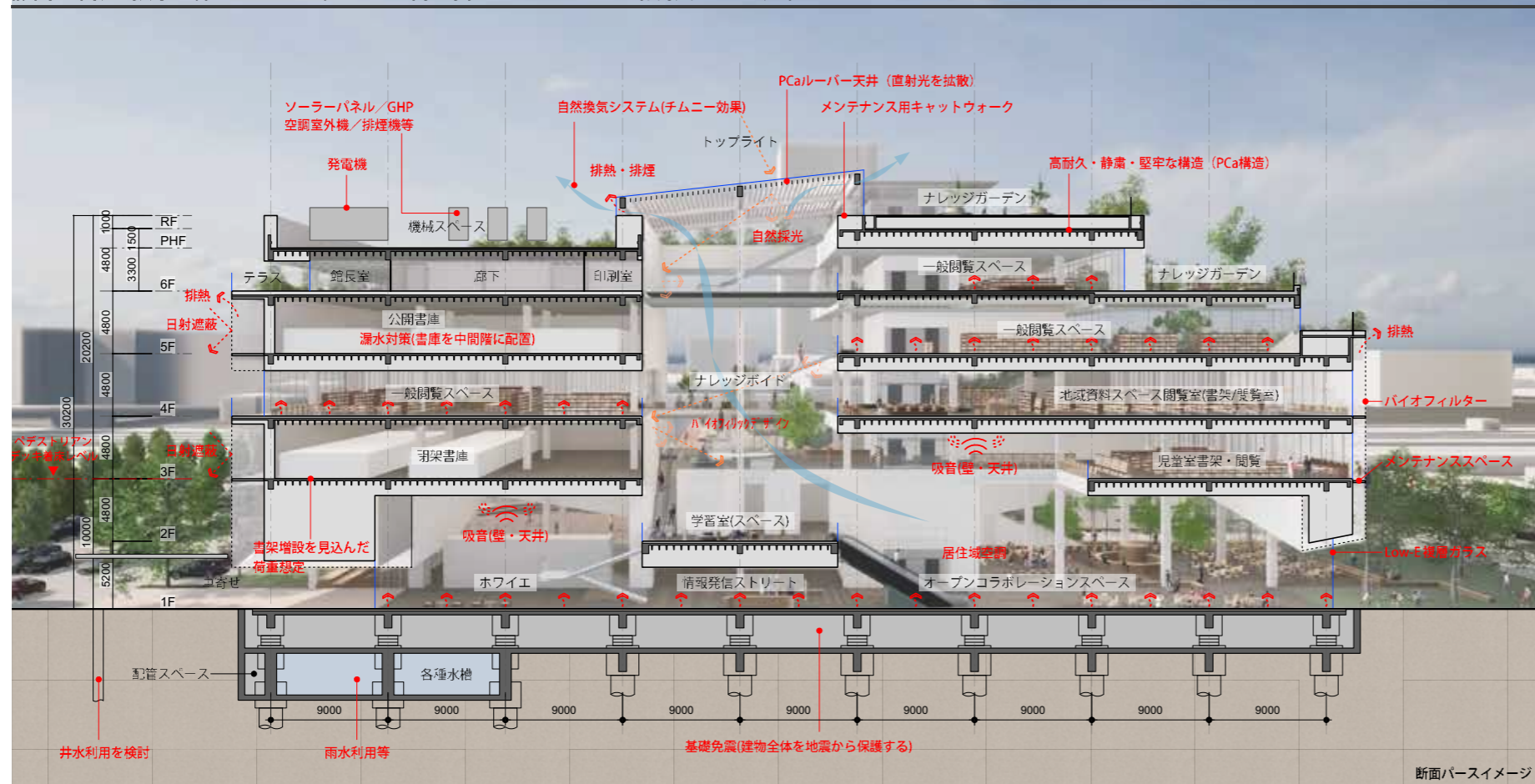
各階平面イメージ S=1/1000

010. 遠藤克彦建築研究所・RIA 設計共同体

03 評価テーマ3【県民にやさしく、使い勝手のよい施設計画】、評価テーマ4【脱炭素社会の実現に向けた環境にやさしい施設計画】
堅実なエンジニアリング・建築計画による充実したバックオフィス支援を軸とした、人にも地球にもやさしく将来にわたって使いやすい施設

様式13：技術提案書（2次）
参加者番号：010

静岡の自然環境を活かしながら快適な読書空間をつくりだす、環境共生型公共施設



県立図書館としての役割を確実に満たす施設計画

書籍物流のための充実したプラットフォーム機能
県立図書館として周辺への協力貸出等による搬入にゆとりをもって対応するため、間口の広いトラックヤードを計画します。まとまりをもって計画された各階の閉架書庫へはトラックヤードからエレベーターを介して最小の水平移動距離となる計画とし、県内一帯の図書物流をバックアップする合理的な計画とします。

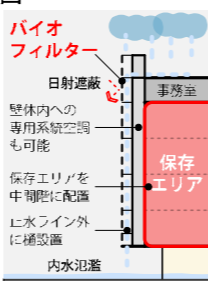


誰にでも使いやすい、ユニバーサルな施設
フラットフロア：バックヤードを含め全階段差の無いフロア計画とし、ブックトラックや台車の取り回しや車いす利用のしやすさに配慮します。屋内外の階段についても緩やかな勾配とすることで、高齢者や子どもにとっての上り下りのしやすさにも配慮します。

わかりやすいサイン表記：開放的で見通しの効く施設計画とともに、十分なサイズのサイン盤面を設けます。必要に応じた振り仮名及び多言語表記や点字表記等、すべての来館者にとってわかりやすいサイン計画を行います。
ゆとりのある書架配置：開架書架の配置間隔は車いすの対面通行が可能なゆとりある寸法を基本とします。

有事にも対応する安全な施設計画

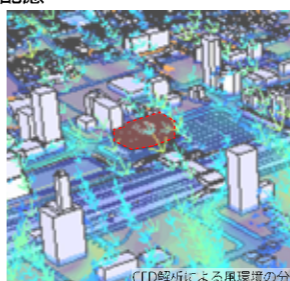
外的要因から貴重な資料を守る書庫計画
書庫は中間階に設け、屋根からの漏水や局所豪雨による内水氾濫等の浸水リスクを回避する計画とします。貴重書庫や閉架書庫の外壁に面する部分については二重壁とし、外気の影響を低減するよう配慮します。必要に応じて壁体内に別系統の空調を設ける事で、より確実な温湿度管理環境を確保する事も可能です。



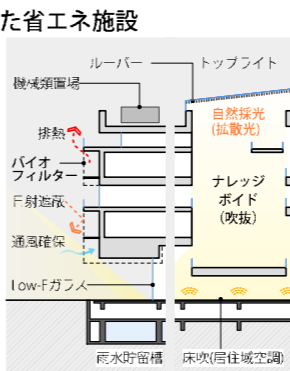
広く災害に対応する公益性の高い駅前施設
万一の災害時においては地上及び屋上の広場、多目的ホールを活用した一時避難や帰宅困難者の受け入れが可能な計画とします。消防法により求められる非常用発電機その他、多目的ホールの空調には停電時においても空調可能な中圧ガス熱源とするGHPエアコン及び燃料電池の採用を検討し熱源多重化によるBCP(事業継続計画)強化を行います。
パッシブとアクティブの技術をミックスした感染症対策
吹抜けが繋がった気積が大きい共用部、東西南北どこからでも換気が可能な平面計画に加え、センサ式水栓等の非接触式機器の採用を積極的に行い、安心して利用できる衛生的な施設計画を行います。

持続可能な図書館像を示す、都市規模での環境配慮

施設建築に伴う周辺環境への配慮
地上部及び屋上部の積極的な緑化により、散水気化熱によるヒートアイランド抑制を行います。また、凹凸のある外装、デッキを設けた建物形状をCFD(流体)解析により分析し、施設建設によるビル風の発生等、敷地周辺の環境の悪化を最小限に抑えます。



パッシブ技術を最大限活用した省エネ施設
トップライトからのルーバーを介した拡散光による自然採光、吹抜けを活用した重力換気、バイオフィルターによる日射遮蔽及び排熱システム、雨水及び井水の散水やミストシャワー及び中水(トイレ用水)等への活用等、静岡の恵まれた自然環境をコントロールしながら積極的に活用する仕組みを取り入れます。



脱炭素社会の実現に向けた配慮項目
脱炭素社会の実現に向けて、下記の4本の柱による適切で効果的な環境負荷低減技術により、50%以上の一次エネルギー削減及び太陽光発電等の再生可能エネルギー導入を行い、CASBEE-Sランク及びZEB-Readyの取得を目標に、環境にやさしい施設計画を行います。



- ①パッシブデザインによる負荷低減：バイオフィルターによる日射抑制や吹抜けを活用した重力換気等、設備への依存を可能な限り低減します。
- ②省エネ機器の採用：全館でのLED照明の採用や高効率HPエアコンの採用を行うとともに、適切な機械配置により、エネルギー損失の低減にも配慮します。
- ③再生可能エネルギーの導入：太陽光発電や雨水及び井水の活用を行い、人々の活動や施設運用によるCO2の実質発生量を削減します。
- ④エネルギー収支のDXによる最適化：BEMSの導入によりエネルギー消費量及び各種再生可能エネルギーの活用状況を共用部より常に確認可能な計画とし、運営者だけでなく来館者の省エネ意識向上に寄与する計画とします。

010. 遠藤克彦建築研究所・RIA 設計共同体

04 合理的な建築計画と、常に最新の状況を読み計画に取り入れる堅実で柔軟な組織体制

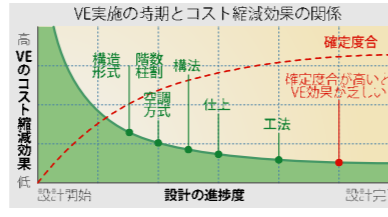
04 合理的な建築計画と、常に最新の状況を読み計画に取り入れる堅実で柔軟な組織体制

確実な工程管理による効率的なコスト管理方針

業務開始時に設計業務工程案と概算をもとにした関係者を集めたキックオフミーティングを開催し、全員で工程及びコスト感の擦り合わせを行います。全行程を通じてコストを確実に管理し業務を進めるため、初期工程に業務比重を大きく割く「フロントローディング」を採用します。

後工程に積み残しを行わない確実なVE計画

建設費用の削減は当然のこと、光熱費削減や維持管理手間のかからないシンプルで計画を行います。また、VEによるコスト削減効果の大きい基本設計業務内の「早期段階においてと件整理を行い、後工程の調整余白を残した計画とします。



優先順位を明確にする費用対効果評価手法

貴重な書籍や資料を確実に保存継承する施設として、「災害を始めた外乱への対策を十分にを行います。対応手法については費用対効果を総合的に比較評価し、担当者様との協議を経て採用の是非を決定します。



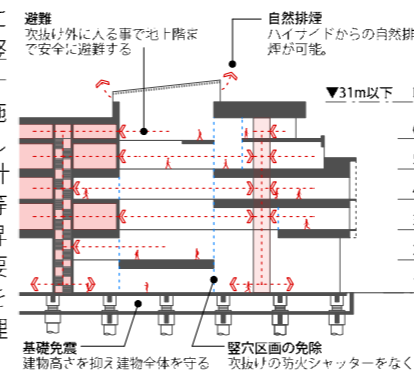
業務内におけるコスト管理方法

- ①建設資材価格動向に対応するコスト計画：昨今の資材価格高騰に備え常に最新の情報に更新しながら価格算出を行います。また、概算時には3%程度の予備費を見込み、想定外の事項や設計変更に対応する計画とします。
- ②確実なフロントローディング：各期間ごとに確定する必要のある事項とその時期を明確化したロードマップを作成し、早期に課題の洗い出しを行うことでと件整理を行うとともに、VEの有効なタイミングを事前に把握します。
- ③無駄のない合理的で安全な構造計画：整形で均等なスパン割や効率的な部材寸法設定を行い、安全で経済性の高い構造計画を行います。
- ④シンプルで必要十分な設備計画：自然エネルギーを積極的に活用可能な部分はパッシブ化を図った上で、個々の空間に対して最適な設備機器選定及び配管の合理化を行い、適材適所の無駄のない設備計画を行います。
- ⑤什器仕様の早期確定：プラン検討の段階から什器数量やレイアウトについても具体的な検討を行いイメージを共有する事で、県担当者や運営者と設計者間の齟齬による手戻りを防止すると共に、概算の精度向上を図ります。

コスト変動要因となり得るリスクを見据えた総合的な建築計画

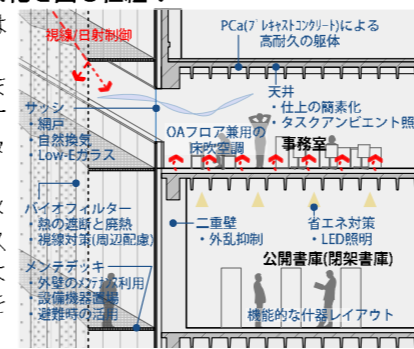
法要件を意識した適正で安全な合理的設計

全階避難安全検証により吹抜け空間における安全な避難計画を行います。堅穴区画の免除による防火用シャッター数量の削減や、杓子定期ではない本施設個別の防火設備等の配置を可能とします。建物の最高高さを31m以下で計画し階高を絞る事で、躯体及び内装等のコスト削減を図ると共に、非常昇降機や消防用水等について設置義務要件から外します。計画自由度の向上を図り、安全性の確認を行った上で合理的な設計を行います。



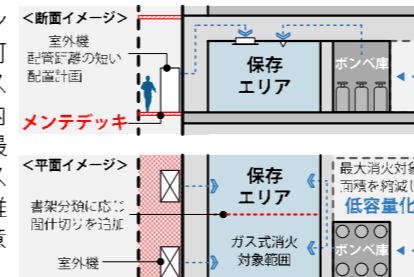
性能とコストを両立する、仕上の簡素化を図る仕組み

最外周に設けたバイオフィルターには曲げ加工を施すことで強度を持たせ、支持材を簡素化し、安価で美しい納まりを実現します。止水ラインを形成する外壁の外側に外装(=バイオフィルター)を設ける事で、外壁には簡素で安価な材からの選定を可能とします。メンテナンス性や耐久性等の性能とコストのバランスによって幅広い選択肢より選定を行い、コストコントロールを行う事が可能です。



設備と意匠の連携による無駄のないエンジニアリング

空調室外機は外装と外壁のクリアランス部に設置し配管距離の短い計画を可能とします。また、貴重書庫等はガス式消火の採用を基本とします。書庫内の書籍分類に応じて間仕切を追加し最大消火対象面積を縮減することでガス容量を削減し、ボンベ庫の縮小及び維持管理手間の削減を図る等、設備と意匠の統合の取れた計画を行います。



コストを意識した実現可能な構造スベックの提案

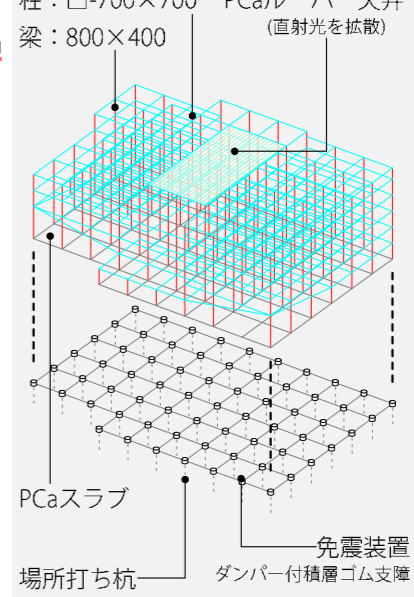
PCa造による高品質高耐久の合理的な構造計画

構造形式は、新しい図書館にふさわしい先進的な空間を実現するにあたり、他の構造形式に比べて品質、コスト、施工面それぞれに最もメリットのあるPCa造を提案します。工場生産の品質管理の行き届いた、高精度で高耐久のプレキャスト部材を現場へ供給することで、現場作業の簡素化を図り、施工時の安全性を確保しながら現場における躯体工期の短縮が可能です。また、他の構造形式の中では鉄骨造でも同様の空間を実現することが可能です。仮設費用の削減に繋げ、現場型枠工等における熟練工不足にも対応します。

構造種別比較	RC造	S造	PCa造
建設コスト	○	○	△
耐久性	○	△	◎
静粛性	◎	○	◎
品質管理	△	◎	◎
工期	○	◎	◎
対塩害	○	△	◎
柱スパン	△	◎	◎
耐火性能	◎	○	◎
総合評価	○	◎	◎+

シンプルでフレキシブルな架構計画

部材搬送の合理性が高く構造的な安定性の高い9m×9mのシンプルな整形グリッドのラーメン構造とします。耐震壁やブレースを原則必要としないため、効率的な書架配置や将来の室レイアウトの変更にも容易に対応が可能です。また、スラブにもPCaの床版を採用する事で小梁の省略及び支保工の削減を行い、工期とコストの縮減を図ります。



建物全体を地震から守る基礎免震の採用地震による建物の損傷を最小限にすると共に、書架の転倒等から人命や貴重な資料を保護するため、応答加速度が小さく建物全体を地震被害から守ることが可能な基礎免震を採用します。また、今回提案のPCa造はRC造に比べてスパンが長く躯体の軽量化を図る事が可能で、免震装置の簡素化によるインニシャルコスト低減に寄与します。



科目	細目	金額	科目金額	直工費合計	共通費	総工費
直接仮設			175,389			
土工	掘削	236,356	413,777			
	山積	103,560				
	切築	103,560				
地業	杭工事(現場打込)		438,472			
基礎躯体			584,460			
免震装置			146,157			
PCa躯体			2,346,840			
防水			19,932			
屋根及び壁			14,949			
バイオフィルター	アルミ穿孔パネル	175,000	875,215			
	ECP工費	325,000				
その他の外壁	カーテンウォール	240,000	17,500			
	ナレッジガーデン	54,660				
	床+積載基礎	54,660				
内装	一般部	1,190,700	1,527,900			
	次広部(壁+天井)	337,200				
	一般部	99,225				
建具	トップライト	68,400	167,625			
書架	固定式書架	500,000				
ベデスチアンデッキ		475,000				
外構工事		612,870				
機械設備工事		2,000,000				
電気設備工事		1,200,000				
昇降機工事		200,000				
備品家具工事		160,000				
合計		12,170,746				
予備費		440,000				
税		1,467,977				
概算工事費(税込)		16,147,749				

021. 株式会社石本建築事務所・株式会社畝森泰行建築設計事務所・企業組合針谷建築事務所

参加者番号
0 2 1

(様式12) 実施方針書

PORT：情報の海の確かな拠点 「小さなコト」がつくる新しい地形

拡張する情報ライブラリー

情報・DX時代と呼ばれる今、図書館は、オンサイト（館内）で出版物などリアルな資源や情報にアクセスできることに加え、オフサイト（館外）でも学びの機会をリアルに、デジタルに享受できる基盤（PORT）となることが求められています。時間や空間の制約から解放され、「静岡」から「世界」にダイレクトにつながる知の拠点、ここにしかない、拡張する情報ライブラリーをつくります。

ランドマークからランドスケープへ

東静岡はかつて操車場でした。駅ができ、「大きな骨格」と「大きな建築」が現れ、街の「ランドマーク」となりました。この大きなまちに付加するべきは、人と人が顔をあわせ、生きた情報を交換し、豊かな交流・活動の種子を生む「小さなコト」だと考えます。「小さなコト」がこの地に広がり、のびやかなランドスケープとなってまちに息吹を吹き込みます。

やわらかい建築が新たな地形をつくる

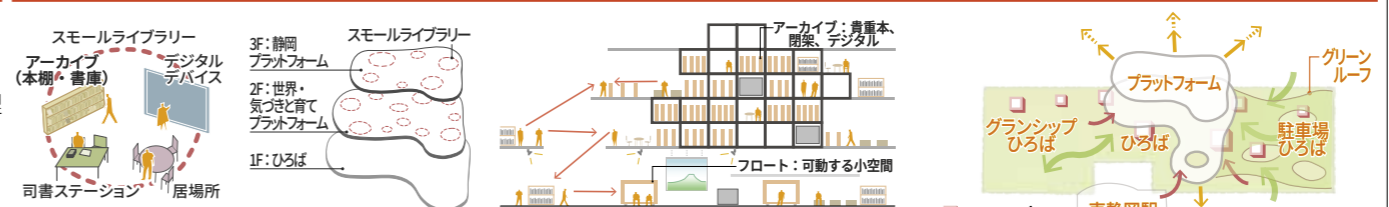
私たちの提案する新県立図書館・PORTは、グランドレベルの「ひろば」とその上にずれながら重なるやわらかいプラットフォームから成っています。「小さなコト」を受容し（IM-PORT）、育て、発信する（EX-PORT）することを、たゆまぬ輪郭に表現しながら、ゆるやかに隆起します。廻りのオープンスペースと一体となり、新たな地形をつくります。

様々なテーマに高度に対応する専門家集団が協働するチームでのぞみます

- ・所属や立場（ドメイン）を超えて、新図書館についての検討テーマを持ち寄り、解決する「課題解決型」のチームです。
- ・しずおか・フューチャーラボ：まちづくりや環境問題など、図書館建設をきっかけに県民参加のプラットフォームをつくります。
- ・コアチームは設計・建設・開館準備から、開館後もサポーターやアドバイザーボードとして図書館の成長を支えます。
- ・将来に負担を残さず、資産となるような図書館づくりのため、ライフサイクルコストの低減は徹底します。建設コスト、維持管理コスト、運営コストなど、テーマごとに図書館の生涯にかかるコストを積み上げ、全体事業費として検証します。



新県立図書館・PORTの空間構成：コトが生まれ、つながり、まちに広がる



「コト」を生むスモールライブラリー
欲しい情報に手が届く、「小さな図書館」です。

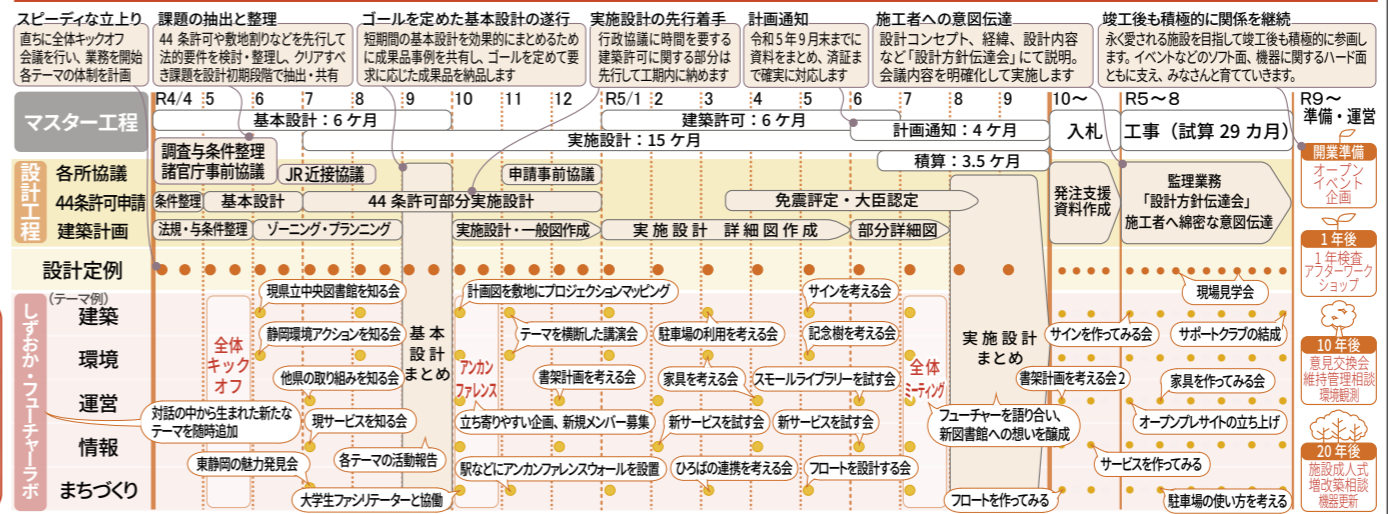
特徴あるプラットフォームとひろば
テーマをもつ3つのフロアが関係を持ち積層します。

ずれながら重なるプラットフォーム
視線がつながり、様々な場所で「コト」が感じとれます。

プラットフォームを支える立体格子
アーカイブを内包する柔軟な構造システムです。

「コト」をまちに広げるランドスケープ
受容と発信を形に表すやわらかいプラットフォームはゆるやかに隆起します。ひろばと一体となったランドスケープはまちとつながり、「コト」がまちに広がります。

新図書館への想いを醸成し、基本設計から竣工後までを見据えたスケジュール管理を行います



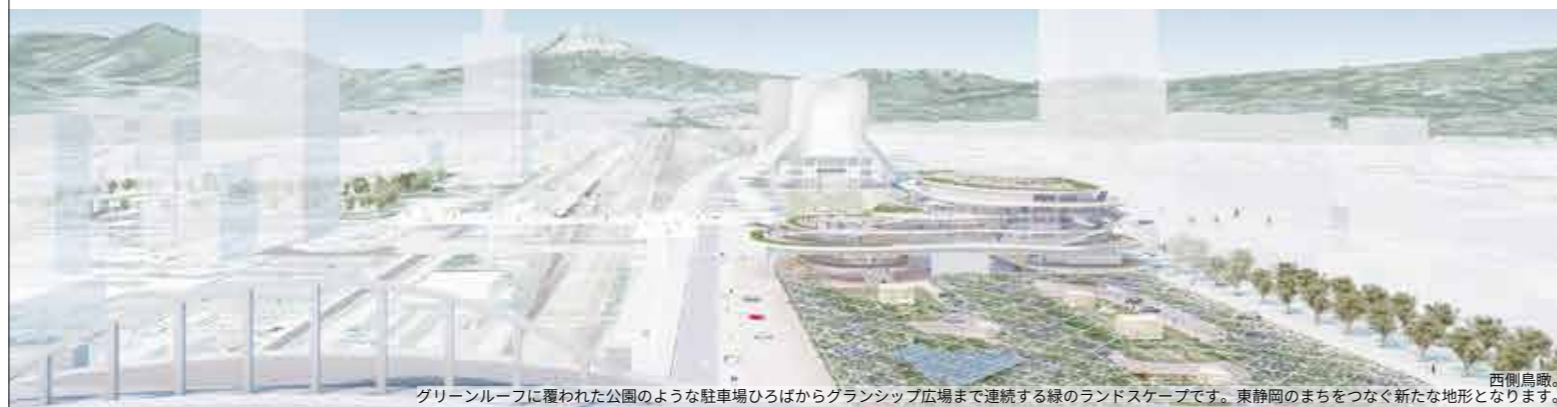
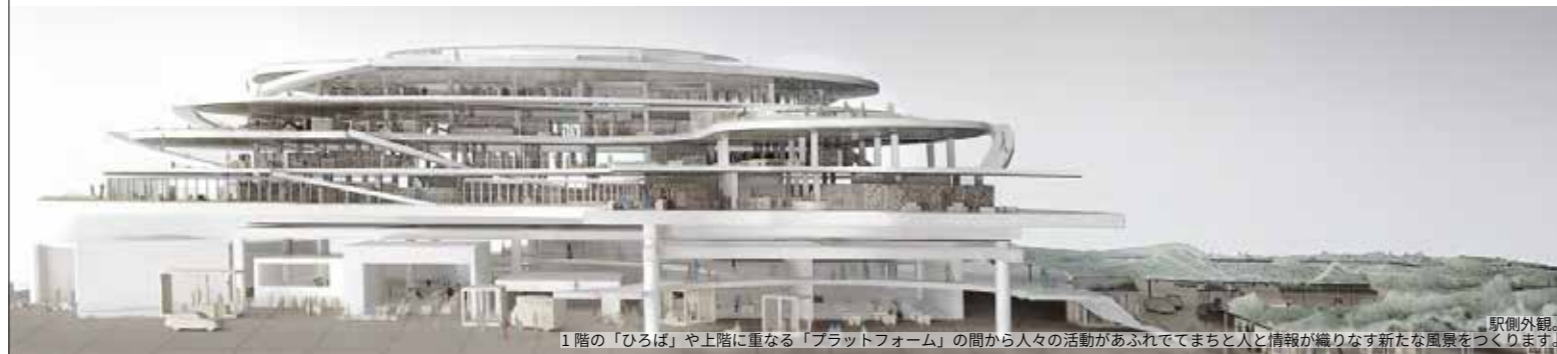
021. 株式会社石本建築事務所・株式会社畝森泰行建築設計事務所・企業組合針谷建築事務所

参加者番号

021

(様式13) 技術提案書 (2次) (テーマ1: 県民の誇りとなる外観・内観デザイン)

小さなコトが重なり合う新たな地形 - 立体的なランドスケープとしての図書館



021. 株式会社石本建築事務所・株式会社畝森泰行建築設計事務所・企業組合針谷建築事務所

参加者番号
021

(様式13) 技術提案書 (2次) (テーマ2: 21世紀の知の発信拠点となる図書館計画)

情報を起点としてモノ・ヒト・コトをつなぐ

新県立図書館PORT
知の循環のハブ(結節点)

膨大な出版物やデジタル情報の海と、県内の市町村立図書館や他機関と、館内のひろばとプラットフォームの間で、いたるところで繰り返される「知の循環」の結節点としての役割を担います。

施設基盤から情報基盤へ
拡張する情報ライブラリー

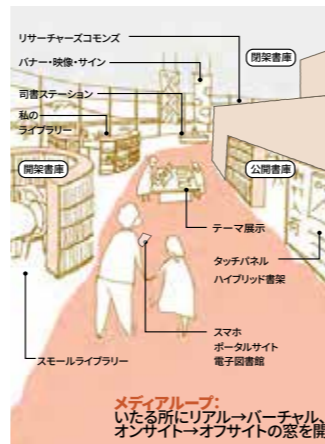
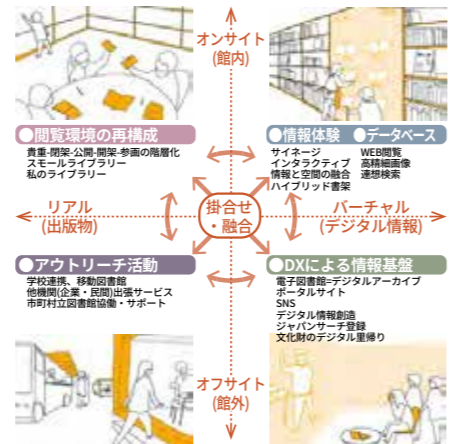
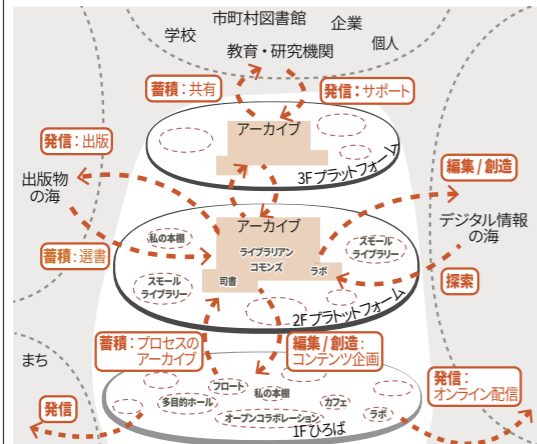
新図書館が担うリアル(印刷・出版物)と
バーチャル(デジタル情報、オンサイト(館内)とオフサイト(館外)の活動を掛け合わせて融合し、「知の循環」の促進を図ります。

メディアループを介して展開
する INFO-SCAPE

回遊動線メディアループにサイン、
映像、展示などの情報を掲示します。
スモールライブラリー、テーマ
配架、私のライブラリーなどが隣
接する情報の海の水先案内です。

3F 静岡プラットフォーム：静岡を学び、編集・創造し、発信する拠点

新県立図書館ならではの、ここにしかない「静岡学」を、こどもから成人まで、県民自ら創造していく場です。



閲覧スペース
L型の本棚で小さな居場所をつくります。
本棚は静岡コンテンツのテーマごとに配
置します。

ワーキング・
コワーキングスペース
メディアループの中に囲まれた
静かな居場所をつくります。

私のライブラリー(企業)
静岡の暮らしを支える企業への備
貸しを行います。そこで働く個人の情報
発信も行い、静岡の産業に新たな面
からふれる場をつくります。

静岡ラボ
県内の図書館などが収蔵する静岡コ
ンテンツをデジタル情報で共有し、編
集・キュレーションを行います。

静岡オフィス
情報・コンテンツの発信をキュレーションでき
ます。



※公開書架の構成や開架の
テーマ配架は図書館の方々と
打合せを重ねて決めてい
きます。本図はその一例に
なります。

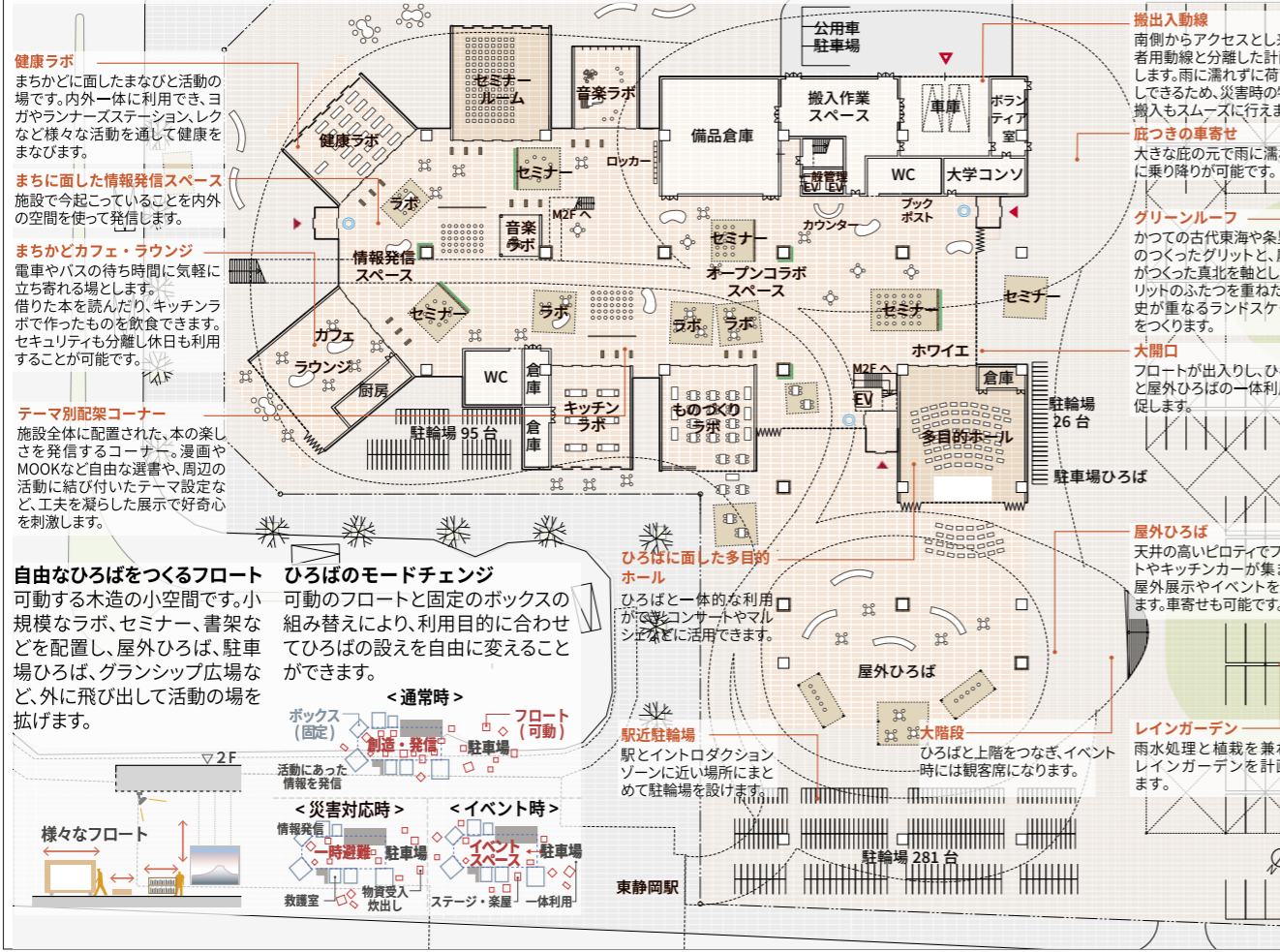
特殊コレクション
一部をガラス張りとし、デジ
タル情報を併設して展示し
ます。

静岡コンテンツ
県内の図書館などが収蔵する
静岡コンテンツをデジタル
情報で共有し、編集・キュレ
ーションを行います。
世界中に散在する静岡コ
ンテンツをデジタル化して呈
示することで他にはないコ
レクションを形成します。

公園のような富士見テラス
富士山を望むオープンスペ
ースに、ベンチやテーブル、テ
ントなどを設け、空読み聞か
せ教室やマルシェなど様々な
イベントに活用します。

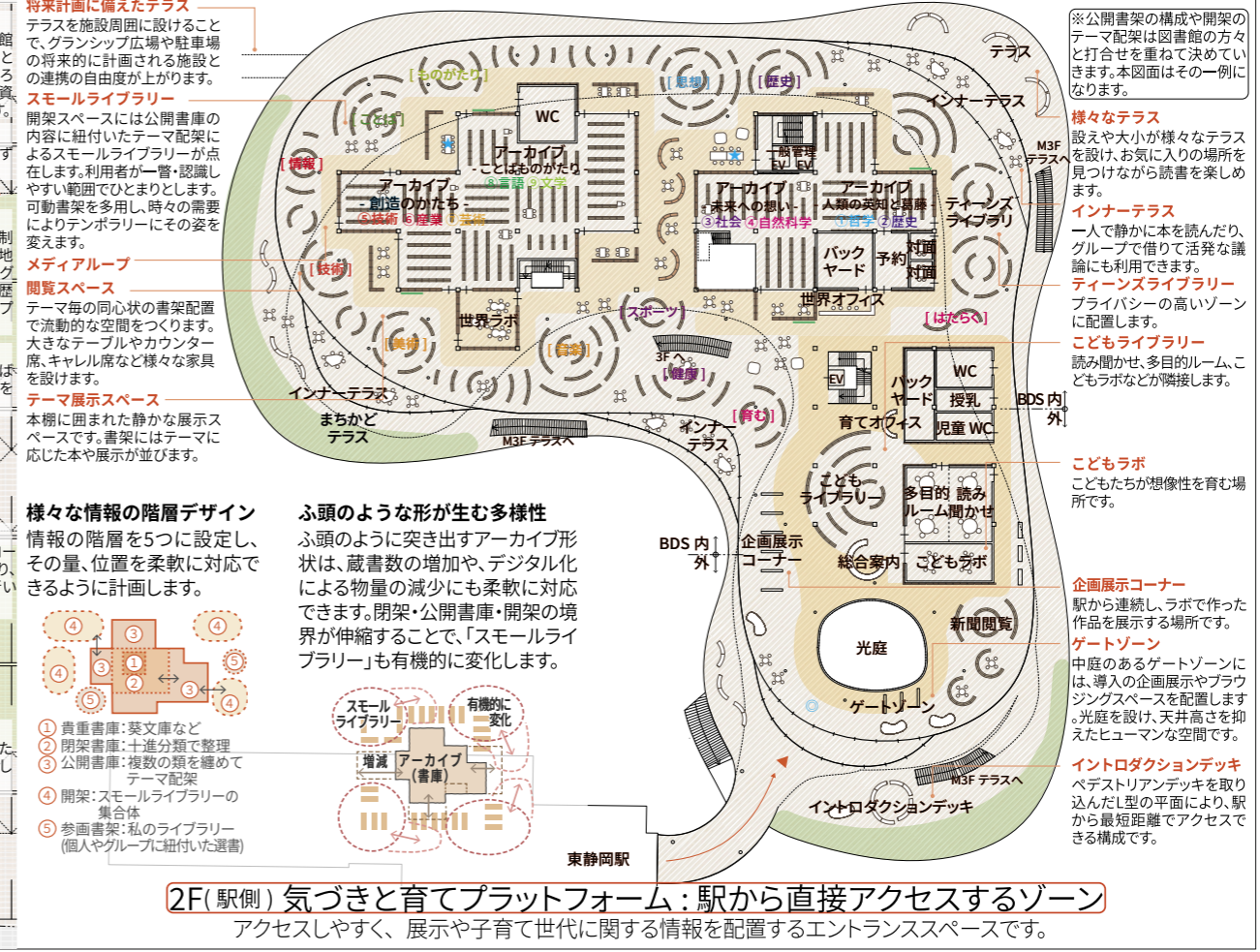
1F ひろば：県民が自ら創り広げる情報と活動の広場

高い階高の中に、様々な活動スペースが点在する自由な空間です。屋内、屋外、駐車場のひろばが一体となり、活動がフラットに広がります。



2F(グランシップ側) 世界プラットフォーム：静岡から世界へダイレクトにつながる

リアル、バーチャルを問わず様々な情報を配置し、世界へつながるフロアです。



将来計画に備えたテラス
テラスを施設周囲に設けること
で、グランシップ広場や駐車
場の将来的に計画される施設
との連携の自由度が上がりま
す。

スモールライブラリー
開架スペースには公開書架の
内容に紐付いたテーマ配架に
よるスモールライブラリーが
点在します。利用者が一言、認
識しやすい範囲でひとまりと
します。可動書架を多用し、時
々の需要によりテンポラリーに
その姿を変えます。

メディアループ
閲覧スペース
テーマ毎の同心状の書架配置
で流動的な空間をつくりま
す。大きなテーブルやカウン
ター席、キャレル席など様々な
家具を設けます。

テーマ展示スペース
本棚に囲まれた静かな展示
スペースです。書架にはテーマ
に応じた本や展示が並びま
す。

様々な情報の階層デザイン
情報の階層を5つに設定し、
その量、位置を柔軟に対応で
きるように計画します。

ふ頭のような形が生む多様性
ふ頭のように突き出すアーカイブ
形状は、蔵書数の増加や、デジ
タル化による物量の減少にも
柔軟に対応できます。開架・公
開書架・開架の境界が伸縮す
ることで、「スモールライブラ
リー」も有機的に変化します。

※公開書架の構成や開架の
テーマ配架は図書館の方々と
打合せを重ねて決めてい
きます。本図はその一例に
なります。

様々なテラス
設えや大きさが様々なテラス
を設け、お気に入りの場所
を見つけながら読書を楽し
めます。

インナーテラス
一人で静かに本を読んだり、
グループで借りて活発な議
論にも利用できます。

ティーンズライブラリー
プライバシーの高いゾーン
に配置します。

こどもライブラリー
読み聞かせ、多目的ルーム、
こどもラボなどが隣接しま
す。

こどもラボ
こどもたちが想像性を育む
場所です。

企画展示コーナー
駅から連続し、ラボで作った
作品を展示する場所です。
ゲートゾーン
中庭のあるゲートゾーンに
は、導入の企画展示やブラウ
ジングスペースを配置しま
す。光庭を設け、天井高さを
抑えたヒューマンな空間で
す。

2F(駅側) 気づきと育てプラットフォーム：駅から直接アクセスするゾーン

アクセスやすく、展示や子育て世代に関する情報を配置するエントランススペースです。

021. 株式会社石本建築事務所・株式会社畝森泰行建築設計事務所・企業組合針谷建築事務所

参加者番号
021

(様式13) 技術提案書(2次) (テーマ3: 県民にやさしく、使い勝手のよい施設計画) (テーマ4: 脱炭素社会の実現に向けた環境にやさしい施設計画)

小さなコトがつくる、人にやさしい建築

低層・駅直結・歩いて楽しい図書館

ひろばから屋上まで、緩い階段やスロープで登ることができます。屋上ひろば、屋外テラス、半屋外のインナーテラスを配置します。

利用者が情報にアクセスしやすい図書館

紙媒体や展示物、デジタル情報など、様々な情報に気軽にアクセスできる空間・仕組計画とします。

情報格差を解消する図書館

司書ステーションを利用者の近くに配置し、デジタルテラス向上のサポートを行います。

ライブラリアンが管理しやすい図書館

アーカイブの中はハイサイドライトから光が射す明るい空間とします。専用の管理動線やミーティングスペースも設けます。

日射や風を和らげる利用者にやさしい駐車場

ツル性植物によるパーゴラで駐車場の一部を覆い公園のような駐車場とします。

管理しやすい図書館

3層のメインフロアの間に中間階を挟んだ低層の構成。メインオフィスはM2階に、サブオフィスは1階ひろば2階世界・こども3階静岡など適所に配置します。

司書ステーション

利用者の近くに分散配置します。

BDS

2階以降の設置も可能な計画とします。

編集/創造

静岡ラボ

デジタルアーカイブと蔵書資料を同時に扱える編集・創造の空間。

蓄積

アーカイブ

書庫の中で研究者が検索・調査できるスペースです。

編集/創造

世界ラボ

バーチャルで世界のオンラインイベントに参加可能です。

蓄積/発信

私のライブラリー

年齢・居場所・身体的条件に関わらず、ARを活用したe-Sportsなど同じ体験を共有できます。

編集/創造

まちかどテラス

県民向けの棚貸しスペースにより、個人の情報発信ができます。

編集/創造

まちかどテラス

グランシップを望みながら外でくつろげます。

編集/創造/発信

フロント+ひろば+駐車場

利用目的に合わせて、ひろばの設えを自由に変えることができます。

全利用者にやさしい図書館

こども、老人、車いす利用者、LGBTなど誰にでもやさしい水廻りスペースや多言語対応のサイン、サインエージ、ポータルサイト、子育て世代にやさしいキッズルーム、ロッカールームなどを配置します。

ライブラリアン commons

県内の市町村立図書館、学校、企業など他機関のアウトリーチ活動の拠点。情報交換、研修・会議、活動の協働。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

ライブラリストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

静岡の恵まれた地勢・気候を活かしたここにしかない環境建築

暖流が流れ、南から陽が差す温暖な気候のもと、静岡ならではの低炭素建築・循環社会をつくれます。

自然通風、自然採光、雨水利用・雨水涵養、木材利用、太陽光発電など、静岡の地勢・気候の特徴を活かし、自然エネルギーを活用します。

風

自然換気可能期間の通風シミュレーションです。やわらかな外皮ラインは長方形に比べ、屋内に風を導きやすい形状になります。

光・風

吹抜けによる重力換気により、微風時でも効果的な自然通風が可能になります。立体格子の吹抜けから拡散しながら自然光が落ちます。

熱・緑

屋上緑化による熱負荷軽減を検討します。

木材利用

ホルダーを天井に使用することで吸音し、場所に応じた音環境をつくります。

光・風

おだやかな風環境を活かし、年間通じた自然通風が可能です。方位により最適化した出幅の庇とスクリーンにより直接光をコントロールします。

感染対策

屋外テラスや半屋外のサンルーム等の開放し易い開口部により換気を促進します。

熱

床輻射冷房・暖房により、居住域の温熱環境を効率的に整えます。温暖な気候を活かし、冬季の暖房負荷を軽減します。

構造

図書館メインフロアとひろば(ランドレベル)の間に免震層を設けることで、地下をつくらず、土を極力動かさないような計画とします。構造の主要部は寸法を揃えることでプレキャストコンクリート化し、型枠などの廃棄物を減らします。

木材利用

フロントには地場産木材の活用を積極的に検討します。

水

雨水貯留・利用、雨水涵養により、水の循環をつくれます。

緑

駐車場のグリーンルーフ(ツル性植物によるパーゴラ)・芝ブロック舗装・図書館テラスの緑化がグランシップの芝生広場と一体となり、ホリウムのある緑を形成します。

創エネ

最上階トップライトにガラス一体型太陽光発電を設置します。駐車場のグリーンルーフに太陽光発電を組み込むなど、日射量の多さを活かし、将来の増設を可能とします。

B C P

EV車蓄電池のリユースによる蓄電池を駐車場に設置し、災害時の電源供給・情報拠点、防災アーカイブの蓄積と発信源となります。免震構造(中間層免震)により地震時の安全を担保します。豊富な地下水を活かし、熱交換による地中熱を利用します。

脱炭素のまちづくりを広げる、Eco・Port(環境拠点)としてクラウドなどを活用しEco・Portでの脱炭素化への取り組みをアーカイブ・発信します。地域で活躍する脱炭素コンサルタントの育成、スマートコミュニティの構築などひとつひとつのまちづくりにつなげます。フロントは環境建築のリビングラボラトリーとして活用します。大学や企業と協働し、エコアイテムの成果を検証し、県民参加の環境イベントなどで公開します。エコアイテムは可能な限り交換可能とし、次世代技術のロードマップに沿って更新します。

